

平成30年度予算審査

税金の使い方が決まりました

市長から、平成30年度の予算案が提出され、議長以外の全議員で構成する予算決算委員会において、内容を審査しました。

審査の結果、全ての予算案を可決し、平成30年度の税金の使い方が決まりました。

■特別会計の内訳

国民健康保険特別会計	77億5,676万2千円
公共下水道事業特別会計	18億8,549万2千円
農業集落排水事業特別会計	6億2,420万6千円
田原福祉専門学校特別会計	1億3,125万7千円
後期高齢者医療特別会計	7億9,212万円

総 額	421億904万2千円 (前年度比 -46億7,065万9千円)
■一般会計予算	289億4,000万円 (前年度比 +13億6,000万円)
■特別会計予算	111億8,983万7千円 (前年度比 -58億9,014万8千円)
■企業会計（水道）	19億7,920万5千円 (前年度比 -1億4,051万1千円)

▽予算決算委員会での
審議は7ページ



平成30年度予算の基本方針

- ① 将来に向けた人口増施策
- ② 住み続けたいまちづくり
- ③ 持続可能な地域づくりと
行政基盤づくり

「世界に輝き、未来につなぐ」予算

田原市では、平成30年度は介護保険広域化や国の補正予算に伴う大規模補助事業など、一時的な要因により予算は増加するものの、合併後、活用してきた地方交付税の合併算定替えが縮減し続けることに加え、平成31年10月には法人市民税の税率改正による大幅な減収も重なり、極めて厳しい財政状況が予測されます。

平成30年度予算編成では、この先の厳しい財政状況を踏まえ、「総合計画第12期実施計画」、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる施策を着実に推進させつつ、開催が予定される国際的・全国的な事業の実施を足掛かりとして、シティセールスをさらに進めるための「世界に輝き、未来につなぐ」予算案が、市長から提出されました。